

平成 29 年度

熊本市こころの健康センター所報

熊本市こころの健康センター

はじめに

本市に甚大な被害をもたらした熊本地震の発生から2年半が過ぎました。まだ、多くの方が仮住まいを余儀なくされています。一日も早くもとの生活に戻られることを心からお祈り申し上げます。

さて、熊本市こころの健康センターでは、震災後、時間の経過とともに生活再建に差が生じ、再建が思うようにいかなかった方々にメンタルヘルスのリスクが高まることが懸念されることから、関係機関と連携しながら課題に取り組んでいるところでございます。

特に自殺につきましては、年々数が減少しているものの、いまだ100人近い方が亡くなっているため喫緊の対応が必要です。このため、市長を本部長とした自殺対策推進本部を設置し、総合的かつ効果的に自殺対策を推進していくこととしており、引き続き、医療機関、警察、消防、地域の関係機関・団体及び行政等と連携し、総合的な体制の中で、当センターでも取り組みの強化を図りながら「自殺予防週間における電話相談の延長」、「包括相談会」、「ゲートキーパー養成研修」、「自死遺族グループミーティング」、「支援者や市民向けの講演会」等を行ってまいりました。

また、依存症対策につきましても、被災者の生活環境が変わる中で、今後更にアルコールやギャンブル等が表面化し、増加傾向になるとことが懸念されます。医療機関、保護観察所、保護司会、警察、当事者自助グループ、県精神保健福祉センター等との連携のもと「相談業務」、「技術支援」、「当事者グループミーティング」、「家族教室」、「市民や支援者への講演会」等を行ってまいりました。

精神障害者の社会復帰支援事業につきましては、認知機能リハビリテーションに取り組む機関がひろがるよう「社会復帰支援（認知機能）研修・講演会」や「技術支援」を行い、併せて「デイ・ケア修了生の集い」や「就労ミーティング」、「ピアサポート講座・修了生の集い」、「ピアサポート講演会」等を行ってまいりました。

所報には、昨年度に引き続き熊本地震への対応も報告させていただいています。

今後の復興期のメンタルヘルスの課題には、「熊本こころのケアセンター」を始め多くの関係機関と連携し、被災者に寄り添った対応に努めて参りたいと思います。ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、6月の「大阪府北部地震」、7月の「西日本豪雨」、8月の四国・近畿地方を襲った「台風21号」、そして9月の「北海道胆振東部地震」など全国各地でこれまで経験したことがない災害が発生しています。被災された皆様にこころよりお見舞い申し上げますと共に、早期の復旧・復興が図られることをお祈りいたします。

平成30年11月

熊本市こころの健康センター所長 松倉 裕二

目次

I こころの健康センターの概要

1	沿革	1
2	業務概要	1
3	施設概要	1
4	組織	2
5	歳入及び歳出決算状況	2

II こころの健康センター業務実績

1	企画・立案	
(1)	熊本市精神保健福祉審議会	3
(2)	熊本市自殺対策連絡協議会	3
(3)	熊本市自殺対策連絡会	3
2	精神保健福祉相談（こころの健康相談）及び診療	
(1)	こころの健康相談（全体）	4
(2)	平成 29 年度の新規相談受付者の状況	5
3	人材育成・教育研修	
(1)	精神保健福祉担当者研修会	9
(2)	依存症研修会・講演会	9
(3)	ゲートキーパー養成講座	10
(4)	自殺予防研修会	11
(5)	思春期精神保健福祉研修会	11
(6)	児童精神症例検討会	12
(7)	精神障がい者社会復帰支援（認知機能）研修・講演会	12
(8)	精神障がい者社会復帰支援 認知機能ミニ研修会	12
(9)	精神障がい者就労支援ネットワーク連絡会	13
4	普及啓発	
(1)	依存症家族教室	14
(2)	依存症講演会	15
(3)	依存症当事者グループミーティング	15
(4)	WRAP（元気回復行動プラン）集中クラス	15
(5)	自死遺族グループミーティング	15
(6)	自死遺族支援を考える講演会	16
(7)	ピアサポート講座	16
(8)	ピアサポート講演会	17
(9)	パンフレット等の普及啓発資料の作成・配布	17

5	組織育成	
(1)	支援件数	18
(2)	支援内容	18
6	関係機関への技術支援	
(1)	技術指導・援助延件数	20
(2)	個別ケース処遇に関する技術指導・援助 延件数	20
(3)	個別ケース処遇に関する検討会議 延件数	21
(4)	関係機関事業に関する技術支援・援助 延件数	21
7	自殺・うつ病対策	
(1)	くらしとこころの悩みの相談会（包括相談会）	22
(2)	自死遺族グループミーティング（再掲）	22
(3)	自死遺族支援を考える講演会（再掲）	23
(4)	ゲートキーパー養成講座（再掲）	23
(5)	自殺予防研修会（再掲）	24
8	依存症対策（再掲）	
(1)	依存症当事者グループミーティング（再掲）（再掲）	25
(2)	依存症家族教室（再掲）	25
(3)	依存症講演会（こころの健康づくり講演会・家族教室）（再掲）	25
(4)	依存症予防普及啓発講話（再掲）	26
(5)	依存症研修会・講演会（再掲）	26
(6)	保護観察所でのストレス講話（引受人会）	26
9	精神障がい者の社会復帰支援	
(1)	デイ・ケア修了生の集い・就労ミーティング	27
(2)	精神障がい者社会復帰支援（認知機能）研修・講演会（再掲）	27
(3)	精神障がい者社会復帰支援 認知機能ミニ研修会（再掲）	28
(4)	ピアサポート講座（再掲）	28
(5)	ピアサポートの集い（フォロー研修）（再掲）	29
(6)	ピアサポート講演会（再掲）	29
(7)	WRAP（元気回復行動プラン）集中クラス（再掲）	29

1 0	ひきこもり対策推進事業	
(1)	ひきこもり支援センター「りんく」	30
(2)	センター概要	30
(3)	事業内容	30
(4)	ひきこもりサポーター養成	31
(5)	その他のひきこもり対策推進事業	31
1 1	自立支援医療費（精神通院）及び精神障害者保健福祉手帳の判定	
(1)	自立支援医療費（精神通院）	32
(2)	精神障害者保健福祉手帳	32
1 2	精神医療審査会の審査に関する事務	
(1)	定期等の報告	34
(2)	退院等請求（請求件数、審査結果の内訳）	34
(3)	相談等件数	34
(4)	代理人・家族等による請求	34
III	平成28年熊本地震への対応（平成29年度活動分）	
(1)	相談	35
(2)	広報・啓発	36
(3)	人材育成	37
(4)	技術支援	38
(5)	熊本こころのケアセンターについて（参考）	38

I 熊本市こころの健康センターの概要

熊本市こころの健康センターは、精神保健及び精神障害者の福祉に関する法律第6条第1項に規定される精神保健福祉センターとして設置されている。

1 沿革

平成24年	4月	1日	熊本市が政令指定都市に移行 熊本市こころの健康センター開設
平成24年	5月	1日	熊本市こころの健康センター診療所認可
平成24年	10月	2日	就労準備デイ・ケア（精神科ショートケア）開始
平成26年	10月	1日	熊本市ひきこもり支援センター「りんく」設置 （業務委託開始）

2 業務概要

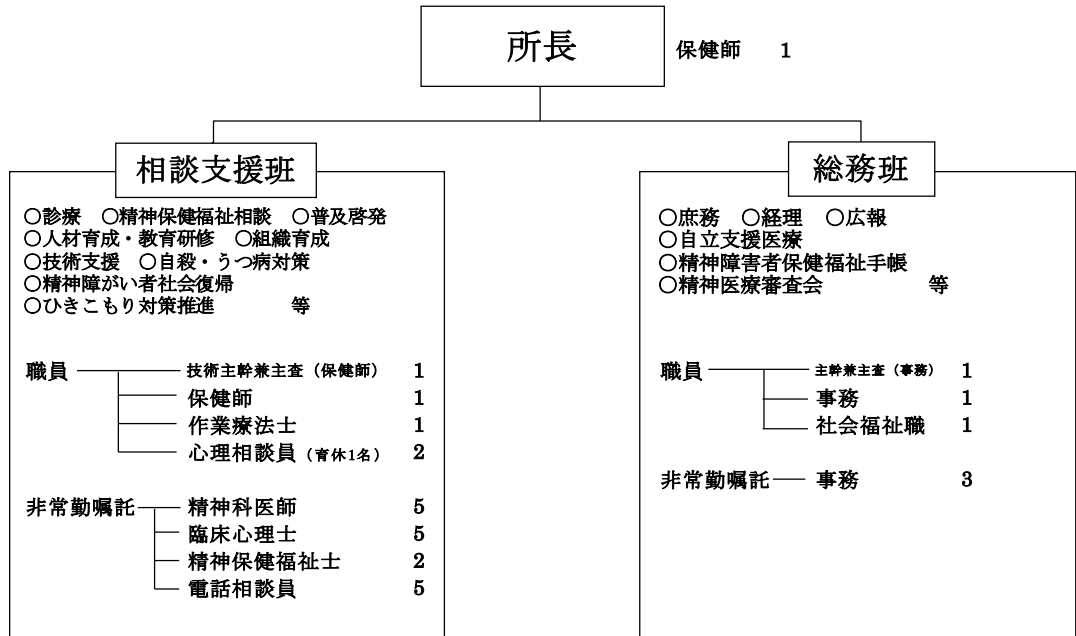
熊本市こころの健康センターでは、以下の業務を行っている。

- (1) 企画・立案
- (2) 精神保健福祉相談及び診療
- (3) 人材育成・教育研修
- (4) 普及啓発
- (5) 組織育成
- (6) 関係機関への技術支援
- (7) 自殺・うつ病対策
- (8) 依存症対策
- (9) 精神障がい者の社会復帰支援
- (10) ひきこもり対策推進事業
- (11) 調査研究
- (12) 自立支援医療費（精神通院）及び精神障害者保健福祉手帳の判定
- (13) 精神医療審査会の審査に関する事務

3 施設概要

所在地	〒862-0971 熊本市中央区大江5丁目1番1号 熊本市総合保健福祉センター（ウェルパルクまもと）3階
面積	35.10 m ²
電話番号	代表番号 096-366-1171 FAX 096-366-1173 こころの健康相談 096-362-8100 熊本市精神医療審査会 096-366-1222

4 組織 （平成 30 年 3 月現在）
熊本市こころの健康センター組織図



5 歳入及び歳出

(1) 歳入	9,918,731 円
国庫補助金	9,918,731 円
使用料	0 円
手数料	0 円

(2) 歳出	41,591,623 円
--------	--------------

款) 衛生費 項) 保健衛生費 目) 精神保健福祉費
(節別内訳)

節	金額	節	金額
報酬	13,740,185 円	医薬材料費	0 円
共済費	1,080,827 円	役務費	6,501,366 円
報償費	1,040,350 円	委託料	17,213,904 円
普通旅費	453,688 円	使用料	156,951 円
特別旅費	355,220 円	備品購入費	0 円
一般需用費	1,255,048 円	負担金補助	234,000 円
食糧費	18,476 円	補償補填	0 円
燃料光熱水費	31,008 円	公課費	24,600 円

Ⅱ 熊本市こころの健康センター業務実績

1 企画・立案

地域精神保健福祉を推進するため、精神保健福祉の専門的な立場から、関係機関及び熊本市の精神保健福祉関係部署に対し、精神保健福祉に関する提案、意見具申等を行っている。

(1) 熊本市精神保健福祉審議会（行政関係職員として所長が参加）

精神保健福祉に関する事項を調査審議する。

精神保健及び精神障がい者の福祉に関する本市の取り組みについての意見や法第19条の9第2項規定による指定病院の指定の取り消しの際の意見を聴取する。

期日	協議内容	参加委員数
H29.12.18	○精神疾患者の現状等について ○事業の実施状況等について ○第5期熊本市障がい保健福祉計画及び第1期熊本市障がい児福祉計画の策定について	11人

(2) 熊本市自殺対策連絡協議会（行政関係として当センターから複数名参加）

熊本市における自殺者数の減少を図るため、市内の関係機関・団体が連携し、自殺対策を総合的に推進することを目的とする。

期日	協議内容
H29.10.16	○熊本市の自殺の現状について ○熊本市の取り組みについて ○各関係機関の取り組みについて ○改正自殺総合対策大綱について

(3) 熊本市自殺対策連絡会（行政関係として当センターから複数名参加）

熊本市における自殺者数の減少を図るため、庁内の関係各課が連携し、自殺対策を総合的に推進することを目的とする。平成19年度より実施しており、2年程開催していなかったが、熊本地震や法改正、自殺対策計画策定等の動きの中H28年度に再開された。

期日	協議内容
H29.9.28	○熊本市の自殺の現状について ○各課の取り組みについて ○自殺総合対策大綱の見直しについて

2 精神保健福祉相談（こころの健康相談）及び診療

当センターでは、区役所及びその他関係機関の複雑困難事例、医療機関及び相談機関等につながっていない困難事例等の相談対応を実施している。また、これら以外の相談事例についても、必要に応じて対応している。

相談体制は、来所相談と電話相談で、来所相談は事前予約制としている。また、来所が困難である事例等は、必要に応じて訪問を行っている。来所相談はセンター職員及び非常勤職員で対応、電話相談は専属の非常勤職員で対応している。電話相談については、専用回線を設置し、平日の 9：00～16：00 で、こころの悩み等の幅広い相談に対応している。

（１）こころの健康相談（全体）

１）相談件数（実人数）

	来所相談		電話相談		訪問	
	延件数	実人数	延件数	新規	延件数	実人数
老人精神保健	12	12	107	71	0	0
社会復帰	34	19	198	2	27	12
アルコール	38	20	145	81	0	0
薬物	7	7	19	10	0	0
ギャンブル	19	15	53	35	0	0
思春期	9	8	88	75	0	0
心の健康づくり	158	124	1,097	622	5	2
うつ・うつ状態	11	6	28	15	0	0
摂食障害	1	1	6	6	0	0
てんかん	1	1	6	5	0	0
その他	91	58	4,840	432	1	1
計	381	271	6,587	1,354	33	15



(相談延件数の再掲分件数)

	来所相談		電話相談		訪問	
	延件数	実人数	延件数	新規	延件数	実人数
ひきこもり	27	12	23	14	12	2
発達障害	58	24	86	35	2	2
自殺関連	10	6	97	43	4	1
自殺者の遺族（再掲）	2	2	21	9	4	1
犯罪被害	0	0	7	4	0	0
災害	1	1	80	55	0	0

2) 男女別件数

	来所相談			電話相談			訪問		
	実人数 (H28 新規)	継続	延件数	新規	継続	延件数	実人数 (H28 新規)	継続	延件数
男	131	61	192	643	3,660	4,303	9	4	13
女	139	49	188	694	1,570	2,264	6	14	20
不詳	1		1	17	3	20			
計	271	110	381	1,354	5,233	6,587	15	18	33

(2) 平成 29 年度の新規相談受付者の状況

1) 来所相談

(ア) 年齢別

	6 ～12	13～ 15	16～ 19	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 69	70～ 79	80～	不詳	計
男		1	4	21	37	19	21	15	6	1	6	131
女		3	7	25	31	23	17	10	13	3	7	139
不詳											1	1
計		4	11	46	68	42	38	25	19	4	14	271

(イ) 相談者内訳

	本人	本人以外								計
		父	母	配偶者	子	兄弟姉妹	祖父母	親戚	その他	
男	74	11	20	18	1	3	2		2	131
女	98	2	22	7	5	3		1	1	139
不詳									1	1
計	172	13	42	25	6	6	2	1	4	271

(ウ) 主たる相談内容内訳

	A精神疾患・障害の相談	B依存・食行動の問題	C思春期相談	D家族関係の問題	E対人関係の問題	F心の健康の問題	G福祉・社会復帰等の問題	Zその他	計
男	44	26	2	13	10	16	18	2	131
女	57	13	1	15	10	31	12	0	139
不詳							1		1
計	101	39	3	28	20	47	31	2	271

(エ) 受付経路

	関係機関紹介	市政だより	チラシ・パンフレット	インターネット	知人の紹介	知っていた	その他	不詳	計
男	37	14	5	13	7	43	4	8	131
女	49	13	7	16	8	31	5	10	139
不詳						1			1
計	86	27	12	29	15	75	9	18	271

(関係機関紹介の再掲分件数)

	保健所	区役所	福祉事務所	医療施設	介護老人保健施設	障害者支援施設	社会福祉施設	教育関係機関	その他	計
男	2	6	0	10	0	0	0	0	11	29
女	2	20	2	12	0	1	1	3	16	57
不詳										
計	4	26	2	22	0	1	1	3	27	86

2) 電話相談

(ア) 年齢別

	0～5	6～12	13～15	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	不詳	計
男		10	15	29	99	140	104	67	52	23	12	92	643
女	2	7	20	33	98	112	107	88	71	40	19	97	694
不詳		2	1								1	13	17
計	2	19	36	62	197	252	211	155	123	63	32	202	1,354

(イ) 相談者内訳

	本人	本人以外								計
		父	母	配偶者	子	兄弟姉妹	祖父母	親戚	その他	
男	365	29	97	65	18	21	5	9	34	643
女	465	14	87	22	39	27	1	13	26	694
不詳	2		3						12	17
計	832	43	187	87	57	48	6	22	72	1,354

(ウ) 主たる相談内容内訳

	A精神疾患・障害の相談	B依存・食行動の問題	C思春期相談	D家族関係の問題	E対人関係の問題	F心の健康の問題	G福祉・社会復帰等の問題	Zその他	計
男	217	105	27	46	40	174	31	3	643
女	247	33	28	112	45	210	16	3	694
不詳	4	3	0	0	1	7	2	0	17
計	468	141	55	158	86	391	49	6	1,354

(エ) 受付経路

	関係機関紹介	市 政 だより	チラシ・パンフレット	インターネット	知人の紹介	知っていた	その他	不詳	計
男	234	56	31	192	18	15	31	66	643
女	234	50	37	217	25	17	50	64	694
不詳	3	0	1	5	1	1	0	6	17
計	471	106	69	414	44	33	81	136	1,354

(関係機関紹介の再掲分件数)

	保健所	区役所	福祉事務所	医療施設	介護老人保健施設	障害者支援施設	社会福祉施設	教育関係機関	その他	計
男	7	31	1	124	0	0	0	2	69	234
女	3	48	5	107	0	0	0	2	69	234
不詳	0	1	0	0	0	0	0	0	2	3
計	10	80	6	231	0	0	0	4	140	471

3 人材育成・教育研修

当センターでは、地域の精神保健福祉活動の推進のために、研修会及び講演会を開催している。精神保健福祉に携わる職員等に対し専門的知識及び技術の習得を目的とし、様々な目的に応じて参加できるように企画している。

平成 28 年度からは、熊本地震後で被災した市民への支援のため、大規模災害後の課題への対応スキル向上のための研修を実施している。（Ⅲ 平成 28 年熊本地震への対応に再掲）

	研修会等	
	件数	参加延人数
老人精神保健	0	0
社会復帰	4	111
アルコール	1	92
薬物	0	0
思春期	2	219
心の健康づくり	0	0
ひきこもり	0	0
自殺関連	7	519
犯罪被害	0	0
その他	2	175
計	16	1,116

	参加延人数（所属別）
保健所	29
区役所	294
福祉事務所	2
医療機関	252
介護老人保健施設	0
障害者支援施設	68
社会福祉施設	0
教育関係機関	156
その他	315
計	1,116

（１）精神保健福祉担当者研修会

精神保健福祉業務に従事する保健所及び区役所職員等が、必要な専門的知識及び技術を習得することで、地域精神保健福祉活動の推進を図ることを目的に実施している。

期日	内容	講師	参加人数
H29.5.26	講話 ○精神保健福祉法の概要及び 精神保健福祉室の業務について ○障害者総合支援法と障害福祉サービスについて ○熊本市こころの健康センター業務について ○支援者が知っておきたい精神科対応ツール ○熊本市ひきこもり支援センター「りんく」業務について ○相談・面接の基礎	精神保健福祉室（職員）、区役所福祉課（職員）、こころの健康センター（職員）、熊本こころのケアセンター（精神科医師）、熊本市ひきこもり支援センター「りんく」（職員）	55 人

（２）依存症研修会・講演会

精神保健福祉業務に従事する者が、依存症についての必要な専門的知識及び技術を習得することで、依存症への適切な対応の充実を図ることを目的に実施している。

期日	内容	講師	参加人数
H29.11.20	講話 「アルコールなどの依存性のある物質に関連する問題を持つ人と関わるコツ」	三重県立こころの医療センター 長 徹二 氏	92 人

(3) ゲートキーパー養成講座

自殺を防ぐために、地域支援者等が自殺危機介入スキルの習得することを目的とした講座等を実施している。

期日	内容	講師	参加人数
H29.6.21 2.14、 12.15	自殺を考える人、自殺を計画する人のサインを見逃さず、危険性をはかり、安全計画をたてた上で、専門家等へつなぐ一連の対応について、実際の場面でのスキルを身につけるためのロールプレイ型実践研修	熊本市こころの健康センター職員	62 人
H29.5.10	シスケンにてゲートキーパーについての講話	熊本市こころの健康センター職員	80 人
H29.7.22	NPO法人熊本県難聴者中途失聴者協会にてゲートキーパーについての講話	熊本市こころの健康センター職員	19 人
H29.7.22	清水公民館時事問題研究講座にて依存症・ゲートキーパーについて講話	熊本市こころの健康センター職員	43 人
H29.8.29	熊大公衆衛生看護学学生の学生実習にてゲートキーパーについての講話	熊本市こころの健康センター職員	21 人
H29.10.1 2	医師臨床研修にて、医師向けに自殺対策事業説明、ゲートキーパーについての講話・相談機関の紹介	熊本市こころの健康センター職員	3 人
H30.1.16	九州森林管理局職員向けに依存症・ゲートキーパーについての講話	熊本市こころの健康センター職員	64 人
H30.2.16	地域包括支援センター南ブロック看護師部会にて南圏域地域包括支援センター・ケアマネ等職員向けにストレス・マネジメント、ゲートキーパーについて講話	熊本市こころの健康センター職員	54 人
H30.2.23	植木大和地区社会福祉協議会にて依存症・ゲートキーパーについて講話	熊本市こころの健康センター職員	43 人

(4) 自殺予防研修会

精神保健福祉活動に従事する支援者に対して自殺予防の研修会を開催し、自殺予防の推進を図る。平成 28 年度・29 年度は、平成 28 年熊本地震の影響を受け、災害時のこころのケア研修として実施。熊本県精神保健福祉センター、熊本こころのケアセンターと共催で開催した。また、平成 29 年度は、日本精神神経学会・熊本県・熊本市共催で熊本地震こころのケアフォーラムを開催した。

期日	内容	講師	参加人数
H29.7.5	講話・グループワーク 「サイコロジカル・ファーストエイド」	兵庫県こころのケアセンター 大澤 智子 氏	実 110 人
H29.9.14	自殺対策専門研修会 ～熊本地震後のこころのケア研修会～ 講話「熊本地震における支援者のこころのケア」 講話「災害後の自殺対策と支援者への支援」	熊本こころのケアセンター 矢田部 裕介 氏 福島県立医科大学医学部災害 こころの医学講座 前田 正治 氏	実 98 人
H29.11.1	講話・グループワーク 「サイコロジカル・ファーストエイド」	兵庫県こころのケアセンター 大澤 智子 氏	実 120 人
H29.1.10・ 11	講話・グループワーク 「サイコロジカル・リカバリースキル」	兵庫県こころのケアセンター 大澤 智子 氏	実 129 人
H30.3.14	熊本地震こころのケアフォーラム 講話「熊本地震こころのケア支援の現状と課題」 講話「復興期の被災者支援 ～心のケアと創意工夫～」	熊本こころのケアセンター 矢田部 裕介 氏 兵庫県こころのケアセンター 加藤 寛 氏	実 120 人

(5) 思春期精神保健福祉研修会

教育関係者及び精神保健福祉業務に従事する者が、思春期における「発達障がい」や「自殺予防」等の課題への理解を深め、地域精神保健福祉活動の推進を図ることを目的に実施している。

期日	内容	講師	参加人数
H29.7.28	講話「『気になる子』との関わり方・つなぎ方～精神科医の立場から」 講話「学校と福祉・医療をつなぐ～子どもや家族への関わりを通して」	向陽台病院 山脇 かおり 氏 熊本県教育委員会スクールソーシャルワーカー 黒田 信子 氏	209 人

（６）児童精神症例検討会

子どもの発達に関する診察を行う医師に症例検討の場を設け、スーパーバイズを受ける機会を提供することを目的に実施している。

期日	内容	講師	参加人数
H29.4.8	児童精神症例検討会	はっとり心療クリニック院長 服部 陵子 氏	10 人

（７）精神障がい者社会復帰支援（認知機能）研修・講演会

精神障がい者の社会復帰促進のための関係機関職員に対する人材育成を目的に教育研修を実施している。

期日	内容	講師	参加人数
H29.10.27	「医療機関における認知機能リハビリテーションの活用と支援～」 「就労移行支援事業所における認知機能リハビリテーションの活用と就労支援」	独立行政法人病院機構 琉球病院 心理療法室 臨床心理士 諸見 秀太 NPO 法人 NECST 障害者就職サポートセンタービルド 施設長 梅田 典子	64 人

（８）精神障がい者社会復帰支援 認知機能ミニ研修会

医療機関をはじめ支援機関スタッフが、認知機能の視点を持った支援や、認知機能の訓練や活動を現場に取り入れていくための動機づけを図ることを目的に研修会を実施している。

期日	内容	講師	参加人数
H30.2.9 (対象) 医療機関	「認知機能について」 「パソコンソフト“JCORES”を活用した認知機能リハビリテーション」 「認知機能の支援への活かし方」	熊本市こころの健康 センター職員	25 人
H30.2.13 (対象) 就労移行支援 事業所	同上	同上	14 人

（９）精神障がい者就労支援ネットワーク連絡会

当センターで実施する精神障がい者の就労支援に係る事業の推進を図り、また、関係機関との連携による精神障がい者の就労支援の促進を図ることを目的として実施している。

期日	内容	委員
H29.7.12	意見交換 ○当センター就労準備デイ・ケアの報告 ○医療機関・就労支援機関等の認知機能に関する取り組みについて ○当センターの今後の取り組みについて	8人

4 普及啓発

当センターでは、精神保健福祉に関する知識、精神障がいについての正しい知識、精神障がい者の権利擁護等について、普及啓発を行っている。

熊本地震発災後の復興期のこころのケアに関する啓発を継続している。

(Ⅲ 平成 29 年熊本地震への対応に再掲)

	普及啓発	
	件数	参加人数
老人精神保健	0	0
社会復帰	25	246
アルコール・薬物	49	228
思春期	0	0
心の健康づくり	0	0
ひきこもり	0	0
自殺関連	8	64
犯罪被害	0	0
その他	0	0
計	82	538

(再掲)

	件数	参加人数
地域住民への講演、交流会	3	167
薬物関連問題の再掲	1	30
精神障害者（家族等）に対する教室等	79	371
薬物関連問題の再掲	47	198
精神ボランティア育成	0	0

(1) 依存症家族教室

アルコールや薬物・ギャンブルなどの依存症に伴う問題に対応するために、家族が学びあい、共感と癒しを得る機会を提供する。

期日	回数	内容	参加人数
毎月第1火曜日 18:30～20:30 毎月第3火曜日 13:30～15:30	23回	「依存症」についての講話、回復者からの体験談、家族の学習会、コミュニケーションなどについて	延 118 人

（２）依存症講演会（こころの健康づくり講演会・家族教室）

依存症で悩む家族が家族関係について正しい知識を習得し、問題行動への対応を学ぶための機会として実施している。また、広く市民を対象とし、「心の健康づくり」として依存症に関わる啓発を行っている

期日	内容	講師	参加人数
H29.11.19	講演 「お酒やアルコールなどの依存症にまつわる知識と今日から自分でできること」	三重県立こころの医療センター 診療部次長 長 徹二 氏	30 人
	家族教室 「アルコールなどの依存性のある物質に関連する問題を持つ人を支える工夫」	同上	13 人

（３）依存症当事者グループミーティング

依存症当事者を対象とし、依存症の回復プログラムを用いて、やめたくても自分でコントロールできない様々な行動を変えていくことを目的としたグループミーティングを行っている。

期日	回数	内容	講師	参加人数
毎月 第 1・3 金曜日 14:00～16:00	24 回	12 ステップを用いたグループ ミーティング	相談支援センター 熊本ダルク施設長 田邊 忠司 氏	延 67 人

（４）WRAP（元気回復行動プラン）集中クラス

日常生活で苦労や困難に直面した際に WRAP（元気回復行動プラン）を利用して、元気を回復する、または元気を保つための方法を学ぶ機会を提供することを目的として実施している。

期日	内容	講師	参加人数
H29.8.30 ～8.31	WRAP(元気回復行動プラン)	WRAP ファシリテーター 3 名	実 14 人 延 26 人

（５）自死遺族グループミーティング

大切な人を自死（自殺）で亡くした者が悩みや苦しみを話せる機会を提供することを目的として実施している。

期日	回数	内容	参加人数
偶数月 第 3 木曜日 14:00～16:00	7 回	フリートーク及び相談 自死遺族支援を考える講演会後に交流会を開催	延 22 人

（６）自死遺族支援を考える講演会

市民及び支援者を対象に、自死遺族への理解を深め、適切な対応について学ぶことにより、自死遺族支援の推進を図る。

期日	内容	講師	参加人数
H29.9.22	講話「大切な人を自殺で亡くすとは ～自殺の現状と活動を通して～」	NPO 法人自死遺族支援ネットワーク Re 代表 山口 和浩 氏	実 42 人

（７）ピアサポート講座

精神障がい者が、その経験を生かし、理解と共感を持って仲間をサポートしていきけるように知識や情報を知る機会を提供することを目的に実施している。また、講座修了者等を対象にピアサポートスキルの向上やさらなる知識の習得に向けたフォロー研修の機会を提供している。

期日	内容	講師	参加人数
H29.7.24	第 1 回 ●「ピアサポートを考えよう！」 ●グループワーク・意見交換	熊本市こころの健康センター 職員	7 人
H29.7.31	第 2 回 ●「ピアサポート実践者の話を聞いてみよう！」 ●「精神障がい者地域移行・地域定着支援でのピアサポーターの役割」 ●グループワーク・意見交換	一般財団法人杏仁会くまもと 青明病院ピアサポート専門員 ピアサポートくまもと ピアサポーター2 名 熊本市障がい保健福祉課 精神保健福祉室職員	6 人
H29.8.10	第 3 回 ●「私のリカバリー～体験談とピアサポート」 ●「ピアサポートで大切にしたいこと」 ●グループワーク・意見交換・情報提供	ピアサポートくまもと ピアサポーター2 名 熊本市こころの健康センター	6 人

ピアサポートの集い（フォロー研修）

期日	内容	講師	参加人数
H29.5.19	第1回 ●「ピアサポートをもう一度考えてみよう」 ●グループワーク ●情報提供	熊本市こころの健康センター	5人
H29.11.17	第2回 ●「ピアサポートにおける距離感 ～バウンダリーを考える～」 ●グループワーク ●情報提供	熊本市こころの健康センター	6人
H30.1.22	第3回 ●「ピアサポートについて」 ●「精神保健福祉ボランティアについて」 ●グループワーク ●情報提供	熊本市こころの健康センター	8人

（８）ピアサポート講演会

当事者、支援者、市民等に向けて他都市で行われているピアサポート活動を紹介し、ピアサポートの普及・啓発を図ることを目的として実施している。

期日	内容	講師	参加人数
H29.6.12	「ピアサポーターを知ろう ～役割の再発見～」	Office 夢風舎 舎長 土屋 徹 フリーランスナース&ソーシャルワーカー	95人

（９）パンフレット等の普及啓発資料の作成・配布

種類	名称
パンフレット	「うつ病のこと、知っていますか？」 「統合失調症のこと、知っていますか？」 「依存症を知っていますか？」 「思春期について」
リーフレット	「熊本市こころの健康センター」 「大切な人を亡くされた方へ」 「依存症かもしれません」 「被災されたみなさまへ」
チラシ	「被災されたお子さんをお持ちの家族の方へ」 「飲みすぎに注意しましょう」

5 組織育成

当センターでは、地域精神保健福祉活動の推進のために、地域住民による組織的活動に協力するとともに、組織の育成について、専門的立場からの助言、協力等を行っている。

(1) 支援件数

	組織育成(支援件数)
老人精神保健	0
社会復帰	10
アルコール・薬物	16
思春期	2
心の健康づくり	2
ひきこもり	1
自殺関連	0
犯罪被害	0
その他	5
計	36

	組 織 育 成				
	患者会	家族会	依存症の自助団体・回復施設	その他	計
支援件数	5	6	6	19	36

(2) 支援内容

1) 精神障がい者当事者グループ

関係組織	回数	育成・支援内容
地域移行支援ピアサポーター(ピアサポートくまもと)	3回	地域移行支援ピアサポーター連絡会打ち合わせ・意見交換会参加等
当事者活動グループ	1回	WRAP 打ち合わせ参加等
NPO 法人熊本 DARC	2回	NPO 法人熊本 DARC 総会・NPO 法人熊本 DARC を支援する会理事会会議参加等
精神障がい者患者会 なごみの会	1回	プログラム講師

2) 家族会

関係組織	回数	育成・支援内容
熊本県精神障がい者家族会	1 回	熊本県精神障がい者家族大会参加
熊本市心の障がい者家族会 (むつみ会)	4 回	家族教室参加・運営支援・打ち合わせ
断酒会家族会　みのり	1 回	会への参加
NPO 法人ダルク家族会	1 回	会への参加

3) 断酒会

関係組織	回数	育成・支援内容
NPO 法人断酒会熊本支部	1 回	会への参加
女性のための断酒会アメシスト	2 回	例会参加

4) ボランティアグループ、その他

関係組織	回数	育成・支援内容
精神保健福祉ボランティア	2 回	学習会・情報交換会・養成講座終了生の集い等
熊本アディクションフォーラム実行委員会	7 回	実行委員会参加、熊本アディクションフォーラム参加等
熊本アルコール関連問題学会	2 回	運営委員会・理事会、学会参加
熊本精神科リハビリテーション研究会	5 回	運営会議・理事会・総会・研究会参加等
熊本市ひきこもり支援センター「りんく」	1 回	熊本市ひきこもり支援センター「りんく」への訪問調査
児童精神症例検討会	2 回	会への出席 年 3 回実施。うち 4 月実施分までは当センターが実施したため「3.人材育成・教育研修」に掲載。

6 関係機関への技術支援

当センターでは、地域精神保健福祉活動の推進のため、保健所、区役所及びその他関係機関に対し、専門的立場から技術支援を行なっている。常勤医師不在のため区役所や地域包括支援センターからの相談が著しく減少した。

平成 29 年度も、熊本地震後に各区に設置された「地域支え合いセンター」への支援を「熊本こころのケアセンター」と共に引き続き実施。

(1) 技術指導・援助延件数

	技術指導・援助												
	老人 精神 保健	社会 復帰	アルコ ール	薬物	ギャ ンブ ル	思春期	心の健康 づくり	ひきこ もり	自殺 関連	犯罪 被害	災害	その 他	計
保健所	0	14	0	0	0	1	1	2	2	0	0	8	28
区役所	20	9	32	3	3	15	64	1	9	1	58	49	264
福祉事務所	0	0	2	0	0	0	2	2	1	0	0	1	8
医療施設	0	18	6	2	0	5	15	0	6	0	0	23	75
介護老人保健施設	2	0	0	0	0		5	0	0	0	0	0	7
障害者支援施設	0	15	0	0	0	0	3	5	3	0	0	15	41
社会福祉施設	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2
教育関係施設	0	1	1	4	0	7	14	0	0	0	0	5	32
その他	13	8	19	15	4	10	35	191	27	0	6	65	393
計	35	65	60	24	7	38	140	201	48	1	64	167	850

(2) 個別ケース処遇に関する技術指導・援助 延件数（再掲）

	技術指導・援助（個別ケース処遇検討 延件数）												
	老人 精神 保健	社会 復帰	アルコ ール	薬物	ギャ ンブ ル	思春期	心の健康 づくり	ひきこ もり	自殺 関連	犯罪 被害	災害	その 他	計
保健所	0	0	0	0	0	1	1	2	2	0	0	7	13
区役所	20	2	31	2	2	15	57	1	7	1	52	45	235
福祉事務所	0	0	2	0	0	0	1	2	1	0	0	1	7
医療施設	0	8	6	2	0	5	15	0	5	0	0	17	58
介護老人保健施設	2	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	2
障害者支援施設	0	14	0	0	0	0	3	4	3	0	0	15	39
社会福祉施設	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2
教育関係施設	0	0	0	0	0	6	10	0	0	0	0	2	18
その他	13	2	5	11	3	10	27	185	14	0	0	62	332
計	35	26	44	15	5	37	115	194	32	1	52	150	706

(3) 個別ケース処遇に関する検討会議 延件数(再掲)

	技術指導・援助(個別ケース処遇検討会議 参加件数)												
	老人 精神 保健	社会 復帰	アルコ ール	薬物	ギャ ンブ ル	思春期	心の健康 づくり	ひきこ もり	自殺 関連	犯罪 被害	災害	その 他	計
保健所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区役所	2	0	2	0	0	1	2	0	0	0	41	5	53
福祉事務所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療施設	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	4
介護老人保健施設	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0
障害者支援施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
社会福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教育関係施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	1	4	0	2	0	176	1	0	0	1	186
計	2	2	3	4	0	3	3	176	1	0	41	9	244

(4) 関係機関事業に関する技術支援・援助 延件数(再掲)

	技術指導・援助(個別ケース処遇検討会議 参加件数)												
	老人 精神 保健	社会 復帰	アルコ ール	薬物	ギャ ンブ ル	思春期	心の健康 づくり	ひきこ もり	自殺 関連	犯罪 被害	災害	その 他	計
保健所	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
区役所	0	3	1	1	0	0	5	0	2	0	6	3	21
福祉事務所	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
医療施設	0	9	0	0	0	0	0	0	1	0	0	6	16
介護老人保健施設	0	0	0	0	0		5	0	0	0	0	0	5
障害者支援施設	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
社会福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教育関係施設	0	1	1	3	0	1	4	0	0	0	0	2	12
その他	0	6	9	1	1	0	6	3	11	0	5	2	44
計	0	21	11	5	1	1	21	4	14	0	11	14	103

7 自殺・うつ対策

日本の自殺者数が減少しているように、熊本市でも減少こそしているものの、いまだ約 100 名の方が亡くなっている現状がある。熊本市の自殺対策の体制は、自殺対策の主管課である障がい保健福祉課（精神保健福祉室）が自殺対策連絡協議会や啓発活動等を行い、こころの健康センターが包括相談会の開催、ゲートキーパー養成講座・自殺予防研修会等の教育研修、自死遺族グループミーティング及びリーフレット・パネル作成等の普及啓発を通して、自殺の防止を図っている。

（１）くらしとこころの悩みの相談会（包括相談会）

自殺の社会的要因である、失業、倒産、多重債務問題等に対する生活相談や高齢介護、障がい者福祉に関する相談、こころの健康に関する相談を併せて行い、抱えている問題の解決を図る機会を提供することを目的として実施している。特に平成 28 年度からは、熊本地震被災者支援として実施。また、例年どおり、９月と３月の相談会は熊本県弁護士会との共催で行った。

相談内容・ 職種 期日	多重債務等の法律 及び生活に関する 相談件数	病気・こころの 健康に関する 相談件数		多重債務等 生活に関する 相談件数	就労に関する相談 件数	その他	合計 (実人数)
	弁護士	精神科 医師	臨床 心理士	生活自立支援セン ター相談員	ハローワーク相談 員		
H29	10	14	15	7	2	0	48(36)
再 掲	6/9	1	2	2	0	0	6(5)
	9/8	4	5	3	2	0	14(10)
	12/8	2	2	3	2	0	10(8)
	3/9	3	5	7	3	0	18(13)

（２）自死遺族グループミーティング（再掲）

大切な人を自死（自殺）で亡くした者が悩みや苦しみを話せる機会を提供することを目的として実施している。

期日	回数	内容	参加人数
偶数月 第 3 木曜日 14:00～16:00	7 回	フリートーク及び相談 自死遺族支援を考える講演会後に交流会を開催	延 22 人

(3) 自死遺族支援を考える講演会

市民及び支援者を対象に、自死遺族への理解を深め、適切な対応について学ぶことにより、自死遺族支援の推進を図る。

期日	内容	講師	参加人数
H29.9.22	講話「大切な人を自殺で亡くすとは ～自殺の現状と活動を通して～」	NPO 法人自死遺族支援ネットワーク Re 代表 山口 和浩 氏	実 42 人

(4) ゲートキーパー養成講座（再掲）

自殺を防ぐために、地域支援者等が自殺危機介入スキルの習得することを目的とした講座等を実施している。

期日	内容	講師	参加人数
H29.6.2、 12.14、12.15	自殺を考える人、自殺を計画する人のサインを見逃さず、危険性をはかり、安全計画をたてた上で、専門家等へつなぐ一連の対応について、実際の場面でのスキルを身につけるためのロールプレイ型実践研修	熊本市こころの健康 センター職員	62 人

期日	内容	講師	参加人数
H29.5.10	シスケンにてゲートキーパーについての講話	熊本市こころの健康 センター職員	80 人
H29.7.22	NPO法人熊本県難聴者中途失聴者協会にてゲートキーパーについての講話	熊本市こころの健康 センター職員	19 人
H29.7.22	清水公民館時事問題研究講座にて依存症・ゲートキーパーについて講話	熊本市こころの健康 センター職員	43 人
H29.8.29	熊大公衆衛生看護学学生の学生実習にてゲートキーパーについての講話	熊本市こころの健康 センター職員	21 人
H29.10.12	医師臨床研修にて、医師向けに自殺対策事業説明、ゲートキーパーについての講話・相談機関の紹介	熊本市こころの健康 センター職員	3 人
H30.1.16	九州森林管理局職員向けに依存症・ゲートキーパーについての講話	熊本市こころの健康 センター職員	64 人
H30.2.16	地域包括支援センター南ブロック看護師部会にて南圏域地域包括支援センター・ケアマネ等職員向けにストレス・マネジメント、ゲートキーパーについて講話	熊本市こころの健康 センター職員	54 人
H30.2.23	植木大和地区社会福祉協議会にて依存症・ゲートキーパーについて講話	熊本市こころの健康 センター職員	43 人

(5) 自殺予防研修会（再掲）

精神保健福祉活動に従事する支援者に対して自殺予防の研修会を開催し、自殺予防の推進を図る。平成 28 年度・29 年度は、平成 28 年熊本地震の影響を受け、災害時のこころのケア研修として実施。熊本県精神保健福祉センター、熊本こころのケアセンターと共催で開催した。また、平成 29 年度は、日本精神神経学会・熊本県・熊本市共催で熊本地震こころのケアフォーラムを開催した。

期日	内容	講師	参加人数
H29.7.5	講話・グループワーク 「サイコロジカル・ファーストエイド」	兵庫県こころのケアセンター 大澤 智子 氏	実 110 人
H29.9.14	自殺対策専門研修会 ～熊本地震後のこころのケア研修会～ 講話「熊本地震における支援者のこころのケア」 講話「災害後の自殺対策と支援者への支援」	熊本こころのケアセンター 矢田部 裕介 氏 福島県立医科大学医学部災害 こころの医学講座 前田 正治 氏	実 98 人
H29.11.1	講話・グループワーク 「サイコロジカル・ファーストエイド」	兵庫県こころのケアセンター 大澤 智子 氏	実 120 人
H29.1.10・ 11	講話・グループワーク 「サイコロジカル・リカバリースキル」	兵庫県こころのケアセンター 大澤 智子 氏	実 129 人
H30.3.14	熊本地震こころのケアフォーラム 講話「熊本地震こころのケア支援の現状と課題」 講話「復興期の被災者支援 ～心のケアと創意工夫～」	熊本こころのケアセンター 矢田部 裕介 氏 兵庫県こころのケアセンター 加藤 寛 氏	実 120 人

8 依存症対策

(1) 依存症当事者グループミーティング（再掲）

依存症当事者を対象とし、依存症の回復プログラムを用いて、やめたくても自分でコントロールできない様々な行動を変えていくことを目的としたグループミーティングを行っている。

期日	回数	内容	講師	参加人数
毎月 第1・3金曜日 14:00～16:00	24回	12ステップを用いたグループミーティング	相談支援センター 熊本ダルク施設長 田邊 忠司 氏	延 67 人

(2) 依存症家族教室（再掲）

アルコールや薬物・ギャンブルなどの依存症に伴う問題に対応するために、家族が学びあい、共感と癒しを得る機会を提供する。

期日	回数	内容	参加人数
毎月第1火曜日 18:30～20:30 毎月第3火曜日 13:30～15:30	23回	「依存症」についての講話、回復者からの体験談、家族の学習会、コミュニケーションなどについて	延 118 人

(3) 依存症講演会（こころの健康づくり講演会・家族教室）（再掲）

依存症で悩む家族が家族関係について正しい知識を習得し、問題行動への対応を学ぶための機会として実施している。また、広く市民を対象とし、「心の健康づくり」として依存症に関わる啓発を行っている。

期日	内容	講師	参加人数
H29.11.19	講演 「お酒やアルコールなどの依存症にまつわる知識と今日から自分でできること」	三重県立こころの医療センター 診療部次長 長 徹二 氏	30 人
	家族教室 「アルコールなどの依存性のある物質に関連する問題を持つ人を支える工夫」	同上	13 人

（４）依存症予防普及啓発講話

市民に対して、依存症についての知識を普及啓発することを目的として実施している。

期日	内容	講師	参加人数
H29.7.22	清水公民館時事問題研究講座にて依存症・ゲートキーパーについて講話	熊本市こころの健康センター職員	43 人
H29.11.2	熊本市立龍田中学校にて全校生徒を対象に、薬物乱用防止・薬物依存症について講話	熊本市こころの健康センター職員	570 人
H30.1.16	九州森林管理局職員向けに依存症・ゲートキーパーについての講話	熊本市こころの健康センター職員	64 人
H30.2.23	植木大和地区社会福祉協議会にて、依存症について講話	熊本市こころの健康センター職員	43 人

（５）依存症研修会・講演会（再掲）

精神保健福祉業務に従事する者が、依存症についての必要な専門的知識及び技術を習得することで、依存症への適切な対応の充実を図ることを目的に実施している。

期日	内容	講師	参加人数
H29.11.20	講話 「アルコールなどの依存性のある物質に関連する問題を持つ人と関わるコツ」	三重県立こころの医療センター 診療部次長 長 徹二 氏	92 人

（６）保護観察所でのストレス講話（引受人会）

薬物事犯により、矯正施設に収容されている方の帰住先の引受人に対し、薬物依存に関する講話とともに、家族のストレスケアについて講話。

期日	内容	講師	参加人数
H29.6.14	・薬物依存について	熊本市こころの健康センター職員	39 人
H29.10.5	・家族教室の案内		32 人
H30.1.17	・当事者グループミーティングの案内 ・家族のストレスケア		33 人

9 精神障がい者の社会復帰支援

精神障がい者のピアサポートや、就労支援関係機関と連携し就労支援を行うことにより、精神障がい者の社会復帰を促進している。

(1) デイ・ケア修了生の集い・就労ミーティング

デイ・ケアの修了者を対象に、生活支援・就労支援を目的にミーティングを実施している。

(修了生の集い：デイ・ケア修了～6 ヶ月、就労ミーティング：デイ・ケア修了～)
 デイ・ケア終了後の生活や自身の体調等を振り返る。また、働くことへの意識を持てるよう、就労について話し合う。

期日	内容	参加人数
第9期生 H29.4.5 ～ H29.9.6	●デイ・ケア修了生の集い 毎月第1水曜(10:00～11:00) 自身の生活や体調等の振り返り、就労について話し合いを実施。	延 14 人

期日	内容	参加人数
H29.4.19 ～ H230.2.21	●就労ミーティング 毎月第3水曜に実施(11:00～12:00) 修了者全員を対象に、就労・就労継続についての話し合いを実施。	延 73 人

(2) 精神障がい者社会復帰支援（認知機能）研修・講演会（再掲）

精神障がい者の社会復帰促進を目的に関係機関職員に対する人材育成としての教育研修を実施している。

期日	内容	講師	参加人数
H29.10.27	「医療機関における認知機能リハビリテーションの活用と支援～」 「就労移行支援事業所における認知機能リハビリテーションの活用と就労支援」	独立行政法人病院機構 琉球病院 心理療法室 臨床心理士 諸見 秀太 NPO 法人 NECST 障害者就 職サポートセンタービルド 施設長 梅田 典子	64 人

（３）精神障がい者社会復帰支援 認知機能ミニ研修会（再掲）

医療機関をはじめ支援機関スタッフが、認知機能の視点を持った支援や、認知機能の訓練や活動を現場に取り入れていくための動機づけを図ることを目的にした研修会を実施している。

期日	内容	講師	参加人数
H30.2.9 (対象) 医療機関	「認知機能について」 「パソコンソフト“JCORES”を活用した認知機能リハビリテーション」 「認知機能の支援への活かし方」	熊本市こころの健康センター職員	25 人
H30.2.13 (対象) 就労支援事業所	同上	同上	14 人

（４）ピアサポート講座（再掲）

精神障がい者が、その経験を生かし、理解と共感を持って仲間をサポートしていただけるように知識や情報を知る機会を提供することを目的に実施している。また、講座修了者等を対象にピアサポートスキルの向上やさらなる知識の習得に向けたフォロー研修の機会を提供している。

期日	内容	講師	参加人数
H29.7.24	第 1 回 ●「ピアサポートを考えよう！」 ●グループワーク・意見交換	熊本市こころの健康センター職員	7 人
H29.7.31	第 2 回 ●「ピアサポート実践者の話を聞いてみよう！」 ●「精神障がい者地域移行・地域定着支援でのピアサポーターの役割」 ●グループワーク・意見交換	一般財団法人杏仁会くまもと 青明病院ピアサポート専門員 ピアサポートくまもと ピアサポーター2 名 熊本市障がい保健福祉課 精神保健福祉室職員	6 人
H29.8.7	第 3 回 ●「私のリカバリー～体験談とピアサポート」 ●「ピアサポートで大切にしたいこと」 ●グループワーク・意見交換・情報提供	ピアサポートくまもと ピアサポーター2 名 熊本市こころの健康センター職員	6 人

(5) ピアサポートの集い（フォロー研修）（再掲）

期日	内容	講師	参加人数
H29.5.19	第1回 ●「ピアサポートをもう一度考えてみよう」 ●グループワーク ●情報提供	熊本市こころの健康センター	5人
H29.11.17	第2回 ●「ピアサポートにおける距離感 ～バウンダリーを考える～」 ●グループワーク ●情報提供	熊本市こころの健康センター	6人
H30.1.22	第3回 ●「ピアサポートについて」 ●「精神保健福祉ボランティアについて」 ●グループワーク ●情報提供	熊本市こころの健康センター	8人

(6) ピアサポート講演会（再掲）

当事者、支援者、市民等に向けて他都市で行われているピアサポート活動を紹介し、ピアサポートの普及・啓発を図ることを目的として実施している。

期日	内容	講師	参加人数
H29.6.12	「ピアサポーターを知ろう ～役割の再発見～」	Office 夢風舎 舎長 土屋 徹 フリーランスナース&ソーシャルワーカー	95人

(7) WRAP(元気回復行動プラン)集中クラス（再掲）

日常生活で苦労や困難に直面した際に WRAP(元気回復行動プラン)を利用して、元気を回復する、または元気を保つための方法を学ぶ機会を提供することを目的として実施している。

期日	内容	講師	参加人数
H29.8.30 ～8.30	WRAP(元気回復行動プラン)	WRAP ファシリテーター 3名	実14人 延26人

10 ひきこもり対策推進事業

ひきこもり支援のさらなる充実をはかるために平成26年10月よりひきこもり支援センターを設置し、運営業務を委託している。

(1) ひきこもり支援センター 「りんく」

平成26年10月より、熊本市にお住まいのひきこもり状態にある本人及びその家族等の第一次相談窓口として、ひきこもり対策推進事業における「ひきこもり地域支援センター」として、ひきこもり支援センター「りんく」を設置した。実施主体は熊本市であるが、事業運営についてはNPO法人に委託を行っている。

(2) センター概要

開所日：平日 8:30～17:15

場所：熊本市中央区大江5丁目1番1号

熊本市総合保健福祉センター（ウェルパルクまもと）3階

対象者：熊本市内在住のひきこもり状態の方及びその家族等

スタッフ：スタッフ：専属3名（精神保健福祉士、臨床心理士）非常勤2名

運営主体：NPO法人お～さあ

(3) 事業内容

1) 相談事業

来所、電話、メール等で相談対応をしている。必要に応じて訪問を行っている。

2) 関係機関との連携

(ア) ひきこもり支援機関連絡協議会

ひきこもり状態にある本人及びその家族が切れ目なく適切な支援や情報等と継続的につながることができるよう、官民協働による重層的かつ横断的なネットワークを構築することを目的に実施している。（年2回開催）

3) 普及啓発

(ア) リーフレット作成・配布

「ひきこもり ひとりで悩まないで」、「熊本市ひきこもり支援センター「りんく」」を作成し配布している。

(イ) 講演会

市民・支援者向けに「ひきこもり」に関する理解を深めるため、講演会を開催している。

(ウ) 研修会

市民・支援者向けに「ひきこもり」に関する理解を深め、対応について学ぶため、月に一回研修会を開催している。

4) ひきこもりサポーター養成

ひきこもり状態の本人や家族等への支援に関心のある方をサポーターとして養成する。

(ア) 一般向け ひきこもりサポーター養成研修及び分科会

家族や一般の方を対象に、養成研修を実施している。全て出席するとサポーターとして認定している。また、研修受講者を対象に、さらに知識や理解を深めてもらうため、選択式の研修分科会を実施している。

(イ) ピアサポーター養成研修

ひきこもり状態の本人を対象に、4回の研修を実施している。全4回を受講するとサポーターとして認定している。

5) その他のひきこもり対策推進事業

(ア) ひきこもり家族教室

同じ悩みを抱えた家族同士が自由な雰囲気での話し合い、当事者への理解を深める場として家族教室を実施している。(月1回 13:30～15:30)

(イ) ひきこもり当事者プログラム

ひきこもり状態の方が安心して過ごせる場として、交流や社会性向上を目的に各種活動を実施している。(週2回 14:00～15:30)

<実績>

	電話相談	メール相談	来所相談	訪問相談
H29	255 (1119)	15 (100)	178 (867)	28 (244)

数は実件数(延べ件数)

	ひきこもり 支援機関連 絡協議会	研修会	講演会	ひきこもり サポーター 養成研修 (一般向 け)	ピアサポ ーター養 成研修(本 人向け)	集団プログ ラム(本人向 け・出張型含 む)	集団プロ グラム(家 族向け・出 張型含む)
H27	62 (2回)	132 (12回)	77 (2回)	92 (16回)	9 (8回)	408 (127回)	133 (42回)
H28	57 (2回)	52 (4回)	119 (2回)	76 (8回)	8 (8回)	258 (130回)	119 (49回)
H29	53 (2回)	39 (3回)	82 (1回)	80 (8回)	4 (2回)	287 (100回)	69 (12回)

延べ参加人数(回数) 平成28年度までは集団プログラム本人向け・家族向けは東区・西区・南区・北区でも開催していたが、平成29年度からはウエルパルのみで実施。

1 1 自立支援医療費（精神通院医療）及び精神障害者保健福祉手帳の判定

当センターでは、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、自立支援医療（精神通院医療）の支給認定及び精神障害者保健福祉手帳の申請に対する判定業務を行っている。

（１）自立支援医療費（精神通院）

年度	申請件数	承認	不承認
H27	12,999	12,992	7
H28	13,030	13,021	9
H29	14,079	14,073	6

（２）精神障害者保健福祉手帳

１）診断書による申請件数

年度	新規申請	更新申請	等級変更	計
H27	648	1,528	33	2,209
H28	562	1,470	23	2,055
H29	631	1,728	33	2,392

※取り下げを除く。

２）診断書による申請の判定結果

年度	１級	２級	３級	保留	不承認	計
H27	282	1,268	561	48	50	2,209
H28	250	1,280	458	29	38	2,055
H29	292	1,450	576	38	36	2,392

※保留については、最終的に１～３級若しくは不承認と認定されている。

３）年金証書による申請件数

年度	新規申請	更新申請	等級変更	計
H27	172	1,724	15	1,911
H28	106	1,869	14	1,989
H29	142	1,924	16	2,082

※取り下げを除く。

4) 年金証書による申請の認定件数

年度	1 級	2 級	3 級	保留	不承認	計
H27	291	1,445	151	6	18	1,911
H28	321	1,495	141	4	28	1,989
H29	306	1,599	146	5	26	2,082

※保留については、年金事務所等の照会先からの回答が、設定した期限に間に合わない場合等を含む。

5) 精神障害者保健福祉手帳所持者数

年度	1 級	2 級	3 級	計
H27	1,158	5,485	1,285	7,928
H28	1,138	5,688	1,375	8,201
H29	1,154	6,069	1,397	8,620

1 2 精神医療審査会の審査に関する事務

当センターでは、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、精神医療審査会の開催事務、審査遂行上必要な調査及びその他審査会の運営に関する事務を行っている。

(1) 定期等の報告

年度	措置定期	医保定期	医保入院	計
H27	31	751	2,102	2,884
H28	39	770	2,264	3,073
H29	36	709	2,243	2,988

(2) 退院等請求（請求件数、審査結果の内訳）

年度	退院請求			処遇改善請求		
	審査件数	取り下げ・終了	計	審査件数	取り下げ・終了	計
H27	22	12	34	4	5	9
H28	42	17	59	17	7	24
H29	32	9	41	12	7	19

年度	退院請求				処遇改善請求		
	入院不適	形態変更	入院継続	計	処遇適当	処遇不適	計
H27	0	1	21	22	4	0	4
H28	1	3	38	42	16	1	17
H29	0	1	31	32	12	0	12

(3) 相談等件数

年度	電話相談件数	電話延件数	請求書送付件数	請求の電話受理件数
H27	123	309	61	1
H28	117	237	89	0
H29	104	224	66	0

(4) 代理人・家族等による請求

年度	代理人	家族等	計
H27	1		1
H28	6		6
H29	7		7

Ⅲ 平成 28 年熊本地震への対応（平成 29 年度活動分）

熊本地震発災後は、医療機関や関係機関の稼働状況の情報収集・提供、自助グループの活動状況の情報収集・提供、被災者や庁内外の関係者向けの資料の作成・提供と相談対応、災害後のこころのケアに関する市民への啓発や関係者への研修等の人材育成、各区役所の地域ささえ合いセンター職員への巡回相談等を行った。

平成 29 年度は震災後の中長期の精神保健活動として活動を継続した。

（１）相談

１）電話相談

年度	総数	震災関連の相談数 (再掲)	震災関連の割合
H28	7,643	556	7.3%
H29	6,587	80	1.2%

月平均の電話相談件数は、震災後増加したが、H29 年度には震災前の状況に戻った。

平成 29 年度に入ってから震災関連の相談内容は「心身の不調」が殆どであり、相談数は減少しているものの「現在も震災後心身の不調が続く」「不眠が続く」という内容の相談があり、現時点でも地震の恐怖や不安が続いているという相談があった。また、「時間が経つと共に震災について周囲に相談し辛い状況」「もう地震の事は口にするなどと言われ、辛さや悩みを話せない」等の新規の相談が見られた。また、震災関連で自殺した遺族からの相談では、「仕事に行く気力がない」「税金が払えない」「物事がうまくいかない」等の相談も見られている。

相談件数は減少したが、今後復興の格差から生じるリスクも踏まえ、丁寧に対応していく方針である。

２）来所相談

通常のか所相談の中で対応。

震災関連の相談は H 平成 28 年度は延べ 25 件であったが、平成 29 年度は 1 件のみであった。

３）包括相談会（再掲）

年 4 回実施している、精神科医師、弁護士、臨床心理士、生活自立支援センター等による包括相談会に関しては、平成 28 年度同様、被災者への支援を考慮して、相談対応者にハローワークを加えて実施した。

（２）広報・啓発

１）市民、職員向け資料作成・提供

震災後に作成した資料に関しては、H28 年度所報に掲載。ホームページにも掲載を継続中。

内 容
「被災されたみなさまへ」 「 〃 改訂版」 「不安を強化しない対応（庁内電子掲示板）」 「時間の経過に応じた支援」 「被災されたお子さんお持ちの家族の方へ」 「震災後の子どものこころやからだのケア」 「避難所３原則～土足禁止、禁煙、禁酒（酒類の持ち込み禁止）」 「飲みすぎに注意しましょう」

２）テレビ、ラジオ、広報等での情報提供

震災後は、災害後の心理的な影響や対処法、震災後のこころの変化と対応、相談先の情報提供、相談会や講演会の案内等をラジオやテレビ、広報紙やタウンページ等で情報提供した。平成 29 年度も相談先の情報提供と相談会や講演会の案内については継続した。

３）市民向け講演会：災害後に懸念されるアルコール問題に関する啓発（再掲）

期 日	内 容	参加数
H29.11.19	市民向け講演会～「アルコールにまつわる知識と今日から自分のできること」	30 人
H29.11.19	家族向け家族教室～「アルコールなどの依存性のある物質に関連する問題を持つ人を支える工夫」	13 人

(3) 人材育成

1) 支援者向け研修（庁内外向け）（再掲）

災害関連の研修会は、平成 28 年度同様、熊本県精神保健福祉センターや熊本こころのケアセンターと 3 者共催で企画実施した。

（対象：県、市町村職員、精神科医療機関、教育関係機関等、災害支援関係者）

期日	内容	講師	参加人数
H29.7.5	講話・グループワーク 「サイコロジカル・ファーストエイド」	兵庫県こころのケアセンター 大澤 智子 氏	実 110 人
H29.9.14	自殺対策専門研修会 ～熊本地震後のこころのケア研修会～ 講話「熊本地震における支援者のこころのケア」 講話「災害後の自殺対策と支援者への支援」	熊本こころのケアセンター 矢田部 裕介 氏 福島県立医科大学医学部災害 こころの医学講座 前田 正治 氏	実 98 人
H29.11.1	講話・グループワーク 「サイコロジカル・ファーストエイド」	兵庫県こころのケアセンター 大澤 智子 氏	実 120 人
H29.1.10・ 11	講話・グループワーク 「サイコロジカル・リカバリースキル」	兵庫県こころのケアセンター 大澤 智子 氏	実 129 人
H30.3.14	熊本地震こころのケアフォーラム 講話「熊本地震こころのケア支援の現状と課題」 講話「復興期の被災者支援 ～心のケアと創意工夫～」	熊本こころのケアセンター 矢田部 裕介 氏 兵庫県こころのケアセンター 加藤 寛 氏	実 120 人

2) 自殺のゲート・キーパー養成講座

災害後に増加が懸念される自殺を防ぐために、地域支援者等が自殺危機介入スキルの習得することを目的とした講座（庁内外の支援者向け）（再掲）

期 日	内 容	参加人数
H29.6.2	自殺のサインを見逃さず、専門家へ繋ぐスキルを身につける	21 人
H29.12.14		18 人
H29.12.15		23 人

(4) 技術支援

1) 関係機関への技術支援

平成 28 年度のうち災害関連での技術支援件数は、総件数 1,391 件中 207 件。(14.9%) 平成 29 年度は、総件数 850 件中 64 件であった。(7.5%)

各区役所福祉課内の地域ささえ合いセンターからの相談が主であり、震災住宅支援課等震災関連の部署からの相談が殆どであった。内容は震災後のメンタル不調が続く被災者への支援について、アルコール問題や発達障害のある仮設住宅入居者への支援について、仮設住宅やみなし仮設住宅での人間関係等に関する支援者からの相談が寄せられた。

2) 精神科医による区役所巡回相談（支援者向け）

平成 28 年 11 月 1 日に 5 区役所に設置された「地域支え合いセンター」にて、みなし仮設に入居中の支援にあたっている看護師を主な対象として、区役所への巡回相談を行なった。

年度	回数	ケース数	参加者
H28 (2 月開始)	5	15	57
H29	12	41	161

(5) 熊本こころのケアセンターについて（参考）

熊本地震の被災者の心のケアを中長期的に行うための拠点として熊本県が設置。熊本市を含む熊本県内全域を活動範囲としており、精神科医師、保健師、精神保健福祉士等からなる 9 名の常勤スタッフ及び非常勤スタッフで構成されている。

① 設日 平成 28 年 10 月 17 日

② 所在地 熊本市東区月出 3 丁目 1-120 (熊本県精神保健福祉センター内)

③ 業実施方法 熊本県が公益社団法人熊本県精神科協会に事業を委託

④ 主な業務内容 被災者への相談支援、支援者への支援、人材育成、普及啓発等

⑤ 本市民の相談状況 (平成 28 年 10 月 17 日～平成 30 年 3 月 31 日)

対応件数は、全対応数 1,228 件中 340 件 (約 3 割) が熊本市民からの相談であり、内訳は、電話相談 269 件、来所相談 29 件、家庭訪問 42 件、計 75 件であった。

内容は、精神疾患・障がいの相談 27%、こころの健康問題 21%、家族関係の問題 21% の順であった。

平成 29 年度 熊本市こころの健康センター所報
平成 30 年 11 月 5 日 発行

発行元

熊本市こころの健康センター

〒862-0971

熊本市中央区大江 5 丁目 1-1 ウェルパルクまもと 3 階

TEL:096-366-1171 FAX:096-366-1173